

目 次

はしがき

略語一覧

序 章	人道的対応をどのように理解するのか	Ⅰ
1	問題の所在	Ⅰ
2	本書の目的と考察の対象	4
3	本書の特徴	6
4	本書の構成と使用する資料	8
第1章	本書の概念枠組み及び分析の視点の構築	Ⅱ
1	古典的な人道主義の成立とその進展	12
2	人道, 開発, 平和	21
3	古典的な人道主義に対する批判とその展開	30
4	本書の概念枠組みと分析の視点	41
第2章	シリア紛争の長期化とその余波	43
1	紛争前のアサド政権の機能	43
2	シリア紛争の推移	50
3	紛争による人道状況の悪化	72
第3章	国連機関による人道的対応	79
1	人道的対応の前提	79
2	アサド政権が統治する地域での人道的対応	86
3	アサド政権が統治していない地域での人道的対応	102
4	小 括	113

第4章	欧米諸国を中心としたドナーによる人道的対応	117
1	人道的対応の前提	117
2	欧米諸国を中心としたドナーによる人道支援	124
3	欧米諸国を中心としたドナーによる人道支援以外の人道的対応	138
4	小 括	152
第5章	和平プロセス開始以降の紛争，人道状況，人道的対応	155
1	和平プロセス開始以降の紛争の推移	155
2	和平プロセス開始以降の人道状況	160
3	和平プロセス開始以降の人道的対応	162
4	小 括	177
終 章	人道的対応と人道主義	179
1	いかなる人道的対応の実践があったのか	179
2	人道的対応と2つの人道主義	182
3	今後の考察の可能性	185
参考文献		189
あとがき		219
索 引		223

表目次

表 1-1	クラスターの専門分野とリード・エージェンシー	24
表 1-2	本書の概念枠組み及び分析の視点	41
表 2-1	シリア紛争の当事者、関係者、主な関係国	63
表 2-2	シリア国内外へ移動を余儀なくされた人数（2011-2015年）	76
表 2-3	県ごとの国内避難民数と支援が必要な人数（2013年と2015年）	77
表 3-1	クラスターと2012年の「シリア人道支援対応計画」の支援分野	93
表 3-2	「シリア人道支援対応計画」2012年と「2013年改訂版」を作成した主体	95
表 3-3	「シリア人道支援対応計画」2012年と「2013年改訂版」の支援分野の違い	96
表 3-4	「シリア人道支援対応計画」2012年と「2013年改訂版」の支援対象の違い	97
表 3-5	国連機関による対シリア支援実績額と人道支援の割合（2011-2015年）	98
表 3-6	対シリア支援実績の総額と人道支援の割合（2011-2015年）	99
表 3-7	UNICEF の支援の例	100
表 4-1	タムキーン・プロジェクトによるコミュニティ支援の例	140
表 4-2	SRTF が実施したプロジェクトの例	144
表 4-3	政治的移行に資する支援実績額	147
表 4-4	政治的移行に資する支援の例	148
表 5-1	シリア国内外へ移動を余儀なくされた人数（2016-2023年）	160
表 5-2	県ごとの国内避難民数と支援が必要な人数（2015年と2023年）	162
表 5-3	「2013年改訂版」と「2016シリア人道支援対応計画」を作成した主体	165
表 5-4	クラスター、「2013年改訂版」、「2016シリア人道支援対応計画」の支援分野の違い	166
表 5-5	「2013年改訂版」と「2016シリア人道支援対応計画」の支援対象の違い	167
表 5-6	国連機関による対シリア支援実績額と人道支援の割合（2016-2023年）	169
表 5-7	対シリア支援実績の総額と人道支援の割合（2016-2023年）	170

地図目次

地図 1	シリア行政区分図	5
------	----------	---